

その他

# 看護教育におけるポートフォリオ活用の動向： 文献レビュー

The Trend of Using Portfolios in Nursing Education  
: A Literature Review

石堂たまき

ISHIDO Tamaki

藪下 八重

YABUSHITA Yae

## 抄 録

【目的】看護においてポートフォリオがどのように活用され評価されているのか、文献から動向を知り、看護教育における有効な活用について検討する。

【方法】医学中央雑誌（Web版）を用いて、「ポートフォリオ」と「看護」を検索用語とし、抽出した341文献のシソーラス用語を分類し文献の傾向を整理するとともに、最新5年間の論文41件の内容を概観した。

【結果】ポートフォリオに関する看護の文献は2000年以降緩やかに増減し、最多である解説は臨床での活用に関する内容が多く、論文では看護基礎教育の実習での活用が多く抽出された。活用の対象は看護学生が半数を占め、ポートフォリオは記録の負担となるなどの課題はあるが、成果の可視化、リフレクション、周囲との共有などに有効であった。

【結論】ポートフォリオは看護教育の様々な場で活用されつつあるが、教育機関全体での活用や評価、卒後教育にまで継続して活用することが課題として示された。

キーワード ■ ポートフォリオ, 看護教育, 文献レビュー

## I. はじめに

2014年度、文部科学省において「大学教育再生加速プログラム（AP）」が開始された。このプログラムの目的は、大学教育の質的転換の加速を促し、大学の人材養成機能の抜本的強化を推進することである<sup>1)</sup>。2016年度にかけて、高等教育に共通の課題となるテーマについての取り組みを募集したところ、国公立大学および高等専門学校から408件の申請があり、そのうち77校の取り組みが選定され、展開されている。それらの取り組みには毎年10～17億円の予算が組まれ、2017年度に中間評価が実施され、2020年度に事後評価が行われる予定である。中間評価では、77校中69校がS評価（計画を超えた取り組み）やA評価（計画どおりの取り組み）を受け、教育改革が着実に進捗していることや、選定校のみならず全国の大学を巻き込んだ自律的な情報共有のネットワークが広がりつつあることが報告されている<sup>2)</sup>。

取り組みのテーマは5つあり、Ⅰ．アクティブ・ラーニング、Ⅱ．学習成果の可視化、Ⅲ．入試改革・高大接続、Ⅳ．長期学外学習プログラム（ギャップイヤー）、Ⅴ．卒業時における質保証の取り組みの強化、およびⅠ・Ⅱの複合型である。これらのテーマに関わらず、14校が取り組みのキーワードに「ポートフォリオ」を挙げており、キーワードとして挙げてはいないものの、42校で取り組みの内容にポートフォリオの活用が含まれている。

佛教大学では開学100周年の2013年に、10年後の「佛大像」と将来構想実現のための基本方針「佛教大学 Vision2022」をまとめ、未来の「佛大像」として「主体的に学ぶ力と課題に挑戦する志をもった人材を育成する大学」を挙げている。その実現に向けた基本方針として6つの改革の枠組みがあり、「学生支援」の枠組みでは、「ICTを活用し、ポータルサイトの充実や、学習ポートフォリオの導入などを進め、学生の学習サポート体制の拡充をはかる」<sup>3)</sup> 計画が明記されている。ポートフォリオとは、もともとは紙ばさみや作品ファイルを意味する<sup>4)</sup>が、英国の義務教育において、一人ひとりの成長を重視しようと導入された評価法<sup>5)</sup>のことである。その後英国では、看護の卒後教育の評価法としても使われ、その取り組みが2000年、大関<sup>5)</sup>により看護系雑誌の特集で紹介され、活用されるようになった。自身がこれまで行ってきたことや考えてきたことを一元化するものであり、ポートフォリオの本質はこの「一元化」にある<sup>4)</sup>。

看護学科では、教育研究上の目的として、「医療の高度化、情報化、国際化に対応できる人材の養成や時代のニーズに応じた看護学教育の追及」<sup>6)</sup>を設定しており、看護教育の現状を把握し、急速に変化していく医療環境や社会情勢に対応した人材の育成に必要な学習環境や、指導方法について理解を深めることが求められている。

しかし、看護基礎教育の現状をみると、講義、演習、実習を繰り返していても、学びの積み重ねやつながりが十分であるとは言えない。それは、学びを重ねてきた多くの講義資料や課題レポートが手元にあっても、活用できていないことが原因のひとつではないかと考える。

そこで本研究では、ポートフォリオに着目し、看護においてポートフォリオがどのように活

用され評価されているのか、文献からその動向を知り、看護教育における有効なポートフォリオの活用について検討する。

## Ⅱ. 研究方法

### 1. 対象文献の抽出

医学中央雑誌(Web版)のデータベースを用いて、論文形式や収載誌発行年を指定せずに「ポートフォリオ」and「看護」で検索した。絞り込み条件として「分類：看護」「チェックタグ：ヒト」を選択し検索した結果、343文献が抽出された。

看護のポートフォリオに関する文献の動向を知るため、343文献のうち動物を対象に含む2文献を除外し341文献を対象とした。さらに看護教育におけるポートフォリオ活用の内容を知るため、341文献のうち最新5年間の論文を抽出し、41文献が得られた。

### 2. 分析方法

#### 1) 全文献の分析

医中誌Webの検索結果の詳細表示より、タイトル、著者、論文種類、収載誌、収載誌発行年の情報を収集した。また、341文献全体の傾向を概観することを目的として、シソーラス用語についても収集した。文献の発表年、文献の種類、シソーラス用語について単純集計を行い、年次推移および文献の種類によるシソーラス用語の違いと用語の関連を分析した。文献の種類については、医中誌Webでの論文種類のまま、「原著論文」、「解説」、「会議録」、「総説」、「座談会」、「レター」に分類した。その際「原著論文」「原著論文／比較研究」「原著論文／事例」は「原著論文」とし、「解説」「解説／特集」は「解説」、「座談会」「座談会／特集」は「座談会」とした。ここでの「原著論文」は、医中誌の「論文種類の定義」<sup>7)</sup>に従い、事例報告や実践報告も含まれているため、以降は「原著論文」ではなく、「論文」と記す。

#### 2) 論文についての分析

341文献のうち論文は88文献であった。そのうち研究や病院の診療情報管理に関する文献を除外した83文献について、研究対象の単純集計のみを行った。この83文献のうち最新5年間(2015-2019)の41文献については、さらに詳しく論文タイトル、著者、収載誌発行年、収載誌、ポートフォリオの活用対象およびその人数、学生の場合はその専門分野、研究デザインについて分類し、概観した。この41文献には、冒頭に「原著」と記載されたものが5件、「実践報告」が9件、「研究報告」が5件、他「活動報告」、「資料」等も含まれていた。

### Ⅲ．結果

#### 1. 文献数の年次推移

ポートフォリオに関する看護の文献は、2001年の総説を初発に2019年3月までに341件が発表されていた。発表年ごとの文献数を図1に示す。2003年に解説が1件、2005年に解説の特集があり、その後は緩やかに増減しながら2015年以降は徐々に増加していた。

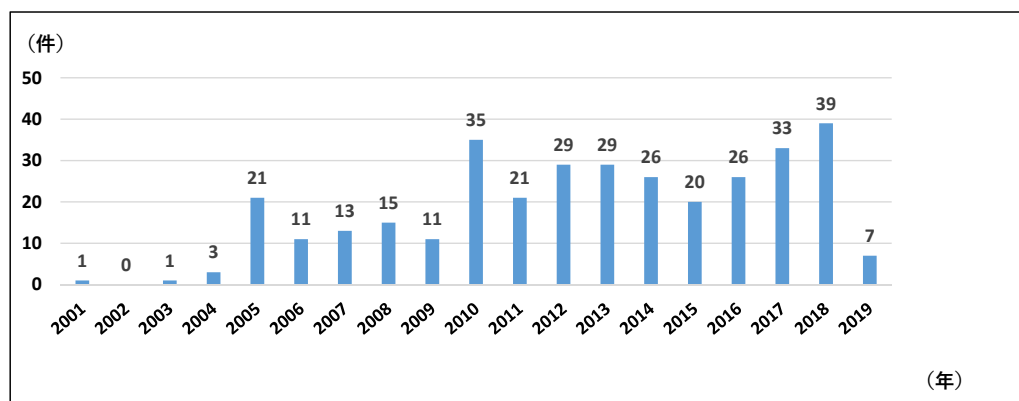
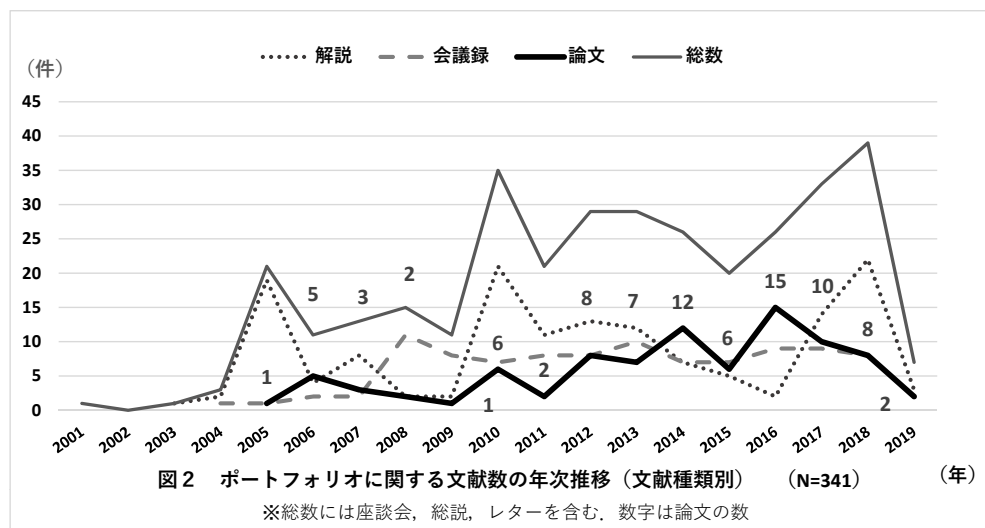


図1 ポートフォリオに関する文献数の年次推移 (N=341)

#### 2. 文献の種類による文献数の年次推移

341件のうち、解説（解説／特集含む）が最も多く148件（43.4%）、会議録が100件（29.3%）、論文（事例含む）88件（25.8%）、座談会3件、総説1件、レター1件であった。ポートフォリオに関する文献数（種類別）の年次推移を図2に示す。



2001年に総説が1件掲載され、その後解説が特集で組まれ、2005年から論文として事例の報告などが発表されている。『看護展望』や『看護教育』などの雑誌でポートフォリオの特集や連載が組まれた2005年、2010年、2017年、2018年は解説の数が増加しており、文献の総数は解説の数に影響を受けている。

「解説／特集」の内容は、2005年の「ポートフォリオで変わる看護師育成」、2010年「ポ－

トフォリオが花ひらくとき」,「ホスピタリティで新しい接遇をーあなたの課題が解決できるポートフォリオの活かし方」,「実践力向上の実習評価へーポートフォリオ&ループリック実践ガイド」,2017年「ティーチング・ポートフォリオで得られること」,2018年「ティーチング・ポートフォリオ作成講座」などであった。

### 3. シソーラス用語の分類

#### 1) 全文献のシソーラス用語

341件の各文献に「シソーラス用語」は1個から17個つけられ,合計337の用語があり,延べ数は2218個であった。「教育評価」をシソーラス用語にもつ文献が99件と最も多く,ファイリング(93件),看護生涯教育(85件),看護大学教育(82件),教育手法(80件)の順であった。教育に関する用語は,他に「教育自己評価」,「現職教育」,「看護教育」,「看護基礎教育」,「看護専門学校教育」等,9個の用語が20位以内であった。また「学習」,「目標」,「目標達成」のように,ポートフォリオの活用方法や期待される効果を示す用語も見られた(表1)。

表1 ポートフォリオに関する文献のシソーラス用語(上位20)

※枠の塗りつぶしは「全文献」341件の上位10項目を示す

シソーラス用語		数字は文献数を示す			
全文献 (論文,解説,会議録,総説,座談会,レター)		論文		解説	会議録
教育評価	99	看護学生	37	教育評価	48
ファイリング	93	ファイリング	37	看護生涯教育	45
看護生涯教育	85	記録	30	ファイリング	42
看護大学教育	82	臨床・臨地実習	28	管理看護	41
教育手法	80	看護大学教育	27	目標達成	40
臨床・臨地実習	78	教育自己評価	27	教育手法	36
記録	77	教育手法	27	スタッフ開発	35
看護学生	71	教育評価	25	看護教育	30
目標達成	53	学習	17	記録	29
学習	52	看護基礎教育	14	目標	28
教育自己評価	52	質問紙法	14	臨床・臨地実習	28
管理看護	51	看護生涯教育	13	学習	24
現職教育	49	質的研究	13	職歴の移動	23
スタッフ開発	45	看護短大教育	12	現職教育	22
目標	41	看護専門学校教育	11	看護大学教育	21
看護教育	37	現職教育	11	教育自己評価	20
看護基礎教育	36	自己報告式質問調査	11	看護評価	18
看護専門学校教育	33	精神看護	11	看護学教員	17
質問紙法	32	看護記録	10	病院看護業務	16
看護記録	31	目標	9	看護学生	15

#### 2) 文献の種類別にみたシソーラス用語の違い

論文から得られたシソーラス用語は699個であった。最も多かったのは「看護学生」と「ファイリング」をシソーラス用語にもつ文献で37件,「記録」30件,「臨床・臨地実習」28件,「看護大学教育」「教育自己評価」「教育手法」が各27件であった。解説では,「教育評価」48件,「看護生涯教育」45件,「ファイリング」42件,「看護管理」41件の順であり,会議録では,「看護



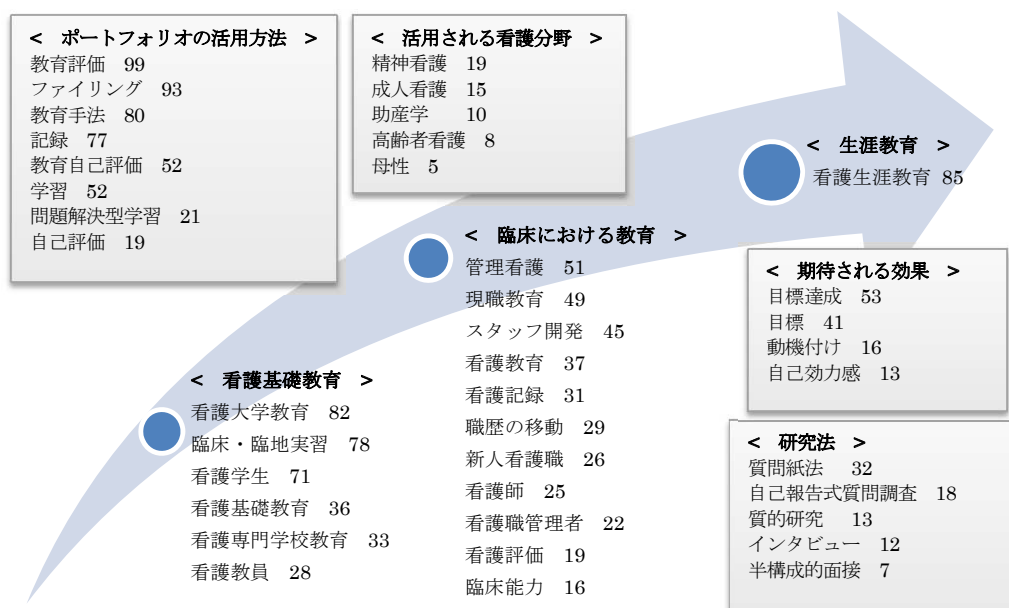


図3 ポートフォリオに関する主なシソーラス用語の文献の分類

※数字はそのシソーラス用語をもつ文献数を示す

大学教育」34件、「看護生涯教育」25件、「教育評価」25件、「臨床・臨地実習」21件、「看護学生」19件の順であった。

### 3) 主なシソーラス用語の分類と関連

さらに、主なシソーラス用語の関連を検討し、分類した結果を図3に示す。シソーラス用語は、その内容から＜ポートフォリオの活用方法＞、＜活用される看護分野＞、＜期待される効果＞、＜研究法＞に分類することができた。さらにポートフォリオが活用される場としては、＜看護基礎教育＞、基礎教育修了後の＜臨床における教育＞、＜生涯教育＞に分類された。

## 4. ポートフォリオに関する論文の概要

### 1) 論文の研究対象

論文83件について、その研究対象を調査、集計した結果、看護学生（助産学専攻学生含む）を対象としたものが49件と最も多く、半数(55.4%)を占めていた。他は、看護師・看護職員9件、患者8件、看護管理者3件、その他助産師、保健師、看護教員などであった。

### 2) ポートフォリオに関する最新5年間の論文の内容

2015年から2019年の論文41件について、タイトル、著者、発行年、掲載誌、ポートフォリオの活用の対象、教育課程（看護学生の場合）、対象人数、専門分野・科目、研究デザインの一覧を表2に示す。論文数は、2015年に6件、2016年15件、2017年10件、2018年8件、2019年（3月まで）2件であった（図2）。掲載誌は紀要（学部論集）が多く25件（61.0%）、学会誌への掲載は14件（34.1%）であった。ポートフォリオ活用の対象は、学生が24件と最

表2. ポートフォリオに関する最新5年間の論文一覧

No.	タイトル	著者 (所属)	発行年	掲載誌 (* 記要)	活用対象	課程	対象数 (人)	専門分野・科目	研究デザイン
1	助産学生の分地他技術試験実施後の学習成果-ポートフォリオ用紙を用いたフィードバックの一例	山崎 晶子他 (福山平成大学助産学専攻科)	2019	* 看護・保健科学学雑誌	学生	大学 専攻科	9	助産	質的研究
2	精神看護学専攻地実習におけるポートフォリオ作成による学習効果	矢野 貴恵他 (慶応大学)	2019	日本看護学会論文集: 精神看護	学生 (2年~3年)	大学	214	精神(実習)	質問紙法 (オクスマニグ)
3	看護基礎教育におけるeポートフォリオ学習の実践報告(第三報)-老年看護学におけるルーブリック評価の試み	山崎 尚美他 (慶応大学)	2018	* 歳次大紀要	学生 (2年)	大学	136	老年	量的研究 (実践報告)
4	看護基礎教育におけるeポートフォリオ学習の実践報告(第二報)-基礎看護学におけるルーブリック評価の試み	須藤聖子他 (慶応大学)	2018	* 歳次大紀要	学生	大学	409	基礎	量的研究 (実践報告)
5	ポートフォリオ活用状況アンケートから見えた現状の課題	細海加代子 (砂川市立病院)	2018	* 砂川市立病院医学雑誌	看護師(師長)		14		質的研究 (自己報告式質問調査)
6	助産実践能力習熟度(階級)ニカニラダー導入の実践報告	溝部さち子他 (大分県立病院)	2018	日本看護学会論文集: 看護管理	助産師		26		実践報告
7	看護師特定行為研修の共通科目の実習指導におけるICTを活用した看護教員の指導の評価 -基礎実習日の学びの分析から	鈴木美津枝他 (自治医科大学)	2018	* 自治医科大学看護学ジャーナル	看護師 (特定行為研修生)		83		質的研究
8	サブワークシートを用いた協同学習の教育的効果	木野 寛子他 (佛教大学)	2018	* 保健医療技術学部論集	学生	大学	11	母性	質的研究 (半構成的面接)
9	DFC公開データと重症度・医療・看護必要度データを活用したMDC・ポートフォリオ・マネジメント	辻岡和孝他 (富山大学附属病院)	2018	診療情報管理	DPCデータ				実践報告
10	高齢者施設での老年看護学実習における学生の学びの評価 -自己教育力を高める「実習ポートフォリオ」の検討	草地由佳 (玉野総合医療専門学校)	2018	* 玉野総合医療専門学校紀要	学生 (3年)	専門	35	老年(実習)	質的研究 (自己報告式質問調査)
11	新人保健師が自己成長感を獲得していくプロセス	山田小織他 (福岡女子学院看護大学)	2017	日本看護学会論文集: 看護管理	保健師(新人)		11		質的研究 (M-GTA)
12	基礎看護技術教育での学生の学びの深さを促す教育的介入の検討-ポートフォリオの導入	久野 暢子他 (山口大学)	2017	* 山口医学	学生 (2年)	大学	84	基礎	質的研究 (自己報告式質問調査)
13	2年課程で学ぶ看護学生の社会人基礎力向上に向けた自己評価シート活用効果	西川 裕美他 (厚木看護専門学校)	2017	* 神奈川県総合ヘルシー・エデュケーション事業団 厚木看護専門学校紀要	学生	2年	39	(各実習)	実践報告
14	老年期うつ病患者へのかみかみー夢ファイルを用いた退院支援	亀井 恵子 (総務省病院)	2017	日本看護学会論文集: 看護管理	患者		1		事例報告
15	ポートフォリオを用いた目標管理の効果。主体性、モチベーションに着目して	山田 光子他 (山梨県立大学)	2017	日本看護学会論文集: 看護管理	看護師		95		量的研究 (質問紙調査)
16	成人看護学受講する学生の学修の実態調査-ポートフォリオに焦点をあてて	福川 新二他 (活水女子大学)	2017	* 活水女子大学看護学雑誌	看護師	大学	139	成人	量的研究 (質問紙調査)
17	看護管理者の自己教育に関する研究 -看護職の現任教育への活用に向けて	森田 孝子他 (横浜創英大学)	2017	* 横浜創英大学研究論集	看護管理者		216		質的研究 (質問紙調査)
18	ポートフォリオを用いた学習に関する研究 -看護職の現任教育への活用に向けて	高口 みさき他 (横浜創英大学)	2017	* 横浜創英大学研究論集	看護師		12		質的研究 (インタビュー)
19	助産基礎教育におけるポートフォリオ学習の効果	上田 邦枝他 (昭和大学助産学専攻科)	2017	神奈川県看護学会誌	学生(修了生)	大学 専攻科			質的研究 (自己報告式質問調査)
20	総合看護学実習におけるポートフォリオ導入プロセス	藤澤 盛樹他 (千里金蘭大学)	2017	* 千里金蘭大学紀要	学生	大学	24件	総合(実習)	文獻研究/実践報告
21	自己教育力を高める「実習ポートフォリオ」の開発-学生と教員の協働によるアクション・リサーチ	江崎ひろみ他 (愛媛県立医療技術大学)	2016	* 愛媛県立医療技術大学紀要	学生 (4年)	大学	4	(実習)	7ツウ・リサーチ
22	看護専門職として主体的に学ぶ力を育成する看護基礎教育における教育実践とその評価	末永 由理他 (東京医療保健大学)	2016	* 東京医療保健大学紀要	学生 (4年)	大学	11	総合と実践(実習)	質的研究 (インタビュー)
23	看護基礎教育における実習用ポートフォリオ導入の試み	榎本 朋子他 (川崎医療短期大学)	2016	* 川崎医療短期大学紀要	学生 (1.5年)	短大	129+241	基礎・領域(実習)	量的研究 (質問紙調査)
24	看護とコミュニケーションに活用したバーチャル・ポートフォリオの学修活動と教育効果の検討 -看護大学の学修向上に焦点をあてて	渡邊 都子他 (東京薬科大学)	2016	日本看護学会論文集	学生 (1年)	大学	87	基礎 (コミュニケーション)	量的研究 (質問紙調査)
25	新人助産師が1年間で獲得した危機管理能力	李 慧英他 (鹿児島大学)	2016	* 鹿児島大学看護学会誌	助産師(新人)		2		事例報告
26	臨床実習における看護学生の内省傾向-ポートフォリオ導入後の成長報告書の内容分析から	前山 直美他 (神奈川歯科大学短期大学部)	2016	* 神奈川歯科大学短期大学部紀要	学生 (3年)	専門	84	実習	量的研究 (計量データ分析)
27	看護学部1年生に適用されたアクティブラーニングによる学習経験-フィリピンにおけるグローバル看護研修コースを介して (Learning Experiences with Active Learning Method Applied during the Early Years of Undergraduate Nursing Students: Through Global Nursing Training Course in the Philippines)	Oshida Yumiko (創価大学)	2016	* 創価大学看護学部紀要	学生 (1年)	大学	28	異文化	質的研究 (事例報告)
28	プリセプター研修におけるポートフォリオ活用効果	山田 光子他 (山梨県立大学)	2016	日本看護学会論文集: 看護管理	看護師		16		実践報告(質的分析)
29	A県における人材育成システムの導入・活用状況と現任教育体制の病棟時間での比較	佐谷 孝子 (バカラギ病院)	2016	日本看護学会論文集: 看護管理	看護管理者		109		質的研究 (自己報告式質問調査)
30	保健師ポートフォリオを活用した臨床実習指導者による学習支援とその効果	田中美延里他 (愛媛県立医療技術大学)	2016	日本地域看護学会誌	学生・指導者		4+2	総合(実習)	質的研究 (半構成的面接)
31	プロジェクト学習とポートフォリオ評価を基盤としたルーブリックの導入が学習意欲に及ぼす影響 -在宅看護実習の場合	望月 久 (富士市立看護専門学校)	2016	日本看護学会論文集: 看護教育	学生	専門	40	在宅(実習)	量的研究 (質問紙調査)
32	プロジェクト学習による成長報告書の分析	西本 大策他 (鹿児島大学)	2016	* 鹿児島大学看護学会誌	学生・教員	専門	84+13	実習	量的研究 (アンケート)
33	プロジェクト学習とポートフォリオ評価を基盤としたルーブリックの導入効果	前山 直美他 (神奈川歯科大学短期大学部)	2016	* 神奈川歯科大学短期大学部紀要	学生 (3年)	短大	78	母性(実習)	量的研究 (質問紙調査)
34	ポートフォリオを用いた看護総合実習における学生の学習目的達成への影響	鶴岡 百合子他 (佐々木義塾大学薬学研究所)	2016	* 神奈川歯科大学短期大学部紀要	学生	大学	5	総合(実習)	質的研究 (自己報告式質問調査)
35	地域看護実習で行う地域診断及び地区活動計画作成へのポートフォリオ導入の試み	石川 麻衣他 (高知県立大学)	2016	* 高知県立大学紀要(看護学部編)	学生	大学	77	地域(実習)	量的研究 (質問紙調査)
36	ポートフォリオを用いた実習指導における教員の振り返り-教員への語りを分析しての考察	宮城和美 (富山県立大学)	2015	* 共創福祉	教員	短大	4	成人(実習)	質的研究 (半構成的面接/尺法)
37	教育面接を受けた精神科看護職員がキャリアポートフォリオに描いたビジョン	堀 美一恵他 (川崎市下部記念病院)	2015	日本精神科看護学会論文集	看護師		83	精神	質的研究
38	目標管理にポートフォリオを用いた研修の効果 -精神科病院におけるポートフォリオ研修の準備とコンピテンシー	山田 光子 (山梨県立大学)	2015	日本精神科看護学会論文集	看護師		75	精神	量的研究 (質問紙調査)
39	基礎看護学実習で学生が主実施した技術の分析によるデータ活用可能性の検討	宮本 まゆみ他 (島根大学)	2015	日本医療看護学会看護学術大会論文集	学生(2年)	大学	188	基礎(実習)	量的研究 (アンケート)
40	ポートフォリオとルーブリック/フィードバックを用いた実習の自己教育力育成への影響 -基礎看護学実習後の学生の自己評価と自己教育力測定尺法から	箕口 紗子他 (長野赤十字看護専門学校)	2015	日本看護学会論文集: 看護教育	学生(2年)	専門	31	基礎(実習)	量的研究 (質問紙調査)
41	基礎看護学実習第三段階にプロジェクト学習を取り入れた効果について	藤村 礼美他 (愛知県立総合看護専門学校)	2015	* 愛知県立総合看護専門学校紀要	学生	専門	指導者52	基礎(実習)	量的研究 (質問紙調査)

も多く、学生と指導者、もしくは学生と教員を対象にしたものを含めると 26 件（63.4%）であった。他に看護師 6 件、看護管理者 3 件、助産師 2 件、教員、患者と続いた。ポートフォリオを活用した科目としては、実習が最も多く、対象を学生とした文献 24 件のうち 18 件（75.0%）が実習での活用であった。研究デザインでは、質的研究が 21 件（51.2%）、量的研究が 18 件（43.9%）であり、量的研究のうち 12 件（66.7%）が質問紙法による調査研究であった。

### 3) 看護教育におけるポートフォリオの活用の効果および課題

最近 5 年間の論文より抽出されたポートフォリオの効果と課題を表 3 に示す。ポートフォリオの効果については、＜学習成果の可視化・成長の実感・モチベーション＞、＜ふり振り返り・リフレクション・自己評価＞、＜課題の明確化＞、＜周囲との共有＞に分類された。課題としては、＜活用のための準備・説明が必要＞、＜記録することの負担＞、＜運用基準の不備＞があった。

表 3 ポートフォリオの活用の効果と課題 - 最新 5 年間の論文より抽出 ( ) は表 2 の文献 No を示す

効果	課題
<p>＜学習成果の可視化・成長の実感・モチベーション＞ (11)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・実習を通して獲得した看護実践能力を学生自身で可視化することに役立つ (4) (21)</li> <li>・「成長の実感」、「実習の振り返り」、「モチベーション」、「思い出」となるもの (21)</li> <li>・ポートフォリオで自己の成長プロセスが見える (22)</li> </ul> <p>＜ふり振り返り・リフレクション・自己評価＞ (4) (12) (24)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・これまでの学習が看護実践に必要だと自己評価できた (2)</li> <li>・自己評価シートを活用し、定期的に自己にて振り返りを行うことで、社会人基礎力の向上につながった (13)</li> <li>・目標にそって評価することは自分を知ることに役立つ (22)</li> <li>・教員のフィードバックは思考の整理に役立ち自己評価を促す (22)</li> </ul> <p>＜課題の明確化＞</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・より明確な将来像が描けた (22)</li> <li>・具体的な目標を立てて行動する方法がわかった (22)</li> <li>・目標があると何をすればよいかわかる (22)</li> </ul> <p>＜周囲との共有＞ (11)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「伝えたいこと、強調したいことにポイントを絞ることができる」「人に伝える力がつく」「まとめる力がつく」など、情報の判断力・統合力・表現力が向上する (35)</li> <li>・ポートフォリオへの記入を通して周囲との共有になり自己成長を実感するための教材として有効 (4)</li> </ul>	<p>＜活用のための準備・説明が必要＞</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ポートフォリオの意図を伝える必要がある (2)</li> <li>・学生に自己評価することの自覚が必要 (4)</li> <li>・効果的な指導を行うためには教員間の連携を密にし、学生が直面している課題の困惑についての共通理解、学生の指導や支援の方法について教員の理解を深めるための指導内容の統一を図る準備が重要 (36)</li> <li>・1 年次から経時的に使用できるファイル等の工夫 (23)</li> </ul> <p>＜記録することの負担＞</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・（グループで作成）作成時間などスケジュール管理、他の課題との分担、レイアウトや構成が難しい (35)</li> <li>・実習用ポートフォリオの定期的な記入や確認が十分にはできず活用できていない現状 (23)</li> <li>・書き方を学生の理解度に合わせてわかりやすくする (23)</li> </ul> <p>＜運用基準の不備＞</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・統一した運用基準が存在せず定着しない (5)</li> <li>・担当教員は学生が実習ごとに、何を学べたのか、どういった学習の取り組みがよかったのか評価し伝える必要がある (23)</li> <li>・「看護の統合と実践」という科目として行ったため、目標や課題の設定を強いることになった。学生は評価される前提で目標を設定する可能性がある (22)</li> </ul>

ポートフォリオを統合看護実習のツールとして導入できたプロセスの 1 例として、藤澤ら<sup>8)</sup>（表 2, No20）の報告がある。ポートフォリオの効果的な活用のため、導入準備として文献検討や実習内容の検討、自己課題と目標（ゴール）を記載する「自己課題シート」など記録の改訂、教員の他校でのポートフォリオ研修を実施した。ポートフォリオ研修には臨地実習指導者も参



加しており、教育手法を共有することで、協働してポートフォリオを実習指導に活かすことが期待できるとしている。課題としては、先行文献に具体的な指導内容の報告がなく、教員の役割変容（知識伝授役からファシリテータへ）や指導スキルアップには、今後実習に関わった教員と実際の指導内容を振り返り、具体的な指導指針の作成の検討が必要としている。

また、医療短期大学看護科に入学した学生に対し、3年間の実習をとおして1つのファイルにまとめる「実習用ポートフォリオ」を導入した榎本ら<sup>9)</sup>の研究（表2, No23）では、「定期的に記入や確認ができた」学生は15.9%、「いつもではないができた」学生が55.8%という結果であった。その理由は「忙しかった」「忘れていた」「時間が足りない」「臨床で頭がいっぱい」であり、特に実習が長期にわたる3年次生では、ポートフォリオの効果的な活用の維持が難しいという結果が示された。改善策としては、ポートフォリオ導入時の動機付けを明確にすること、書き方等の説明資料をわかりやすくすること、定期的にリフレクションや学習したことの意味を考える時間をとり、そこに教員が効果的に介入することを挙げている。

## 5. e-ポートフォリオ

本研究で対象とした論文83件のうちe-ポートフォリオに関する論文は、島根県立大学短期大学部で活用しているシステム「だんだんe-ポートフォリオ」に関する吾郷ら<sup>10)</sup>、三島ら<sup>11)</sup>による報告、畿央大学の須藤ら<sup>12)</sup>、山崎ら<sup>13)</sup>によるe-ポートフォリオ学習についての実践報告の4件であった。

国内の看護基礎教育におけるe-ポートフォリオ学習および研究の動向について、山崎ら<sup>13)</sup>によると、インターネットでの検索で原著論文1件、報告・報告書が12件、資料が2件であり、内容は「システム開発・導入・活用」「評価の報告」「ティーチング・ポートフォリオの活用」「ルーブリック導入・開発」等であった。e-ポートフォリオの導入から活用の実際を紹介した文献はあったが、評価までを検討した文献は1件のみであり、国内で看護基礎教育におけるe-ポートフォリオ学習および研究は現段階では少なく、今後増加することが予想されると報告している。

## Ⅳ. 考察

### 1. 看護教育におけるポートフォリオの文献の動向と活用の場

今回、医中誌webでポートフォリオに関する341件の文献が抽出された。2012年に小島<sup>14)</sup>が同じく「ポートフォリオ」と「看護」を検索語として行った文献調査では、116件であり、解説62件、会議録32件、原著論文16件であったと報告している。今回も解説が最も多く、会議録、原著論文の順であるが、その数は解説148件、会議録が100件、原著論文88件であり、原著論文が5倍以上に増加している。年間の報告数は少ないが、毎年その活用についての報告

が継続されており、看護の教育において、ポートフォリオの活用が徐々に広がっているといえる。

また、解説として定期的にポートフォリオの特集が組まれており、解説の数が増加したことで、ポートフォリオに関する文献の総数も増加していることがわかる。2000年代の解説／特集はポートフォリオの紹介、ポートフォリオ作成についての説明であったものが、2017、2018年と続けてティーチング・ポートフォリオの特集であり、ポートフォリオの活用範囲が学生から指導者にも広がっており、学生を指導する側のニーズに応えようとしているともいえる。

論文では、看護基礎教育におけるポートフォリオについての報告が圧倒的に多く、対象は看護学生が半数を占め、実習での活用の報告が多かった。看護学生を対象とし、実習に活用されているという結果は、論文に関するシソーラス用語の分析の結果（「看護学生」をシソーラス用語にもつ文献37件、「臨床・臨床実習」28件）とも一致する。ポートフォリオの活用や効果についての研究対象としては、学生が多いことがわかった。またその論文の収載誌は学会誌より紀要が多いことから、所属する教育機関での報告により、所属機関でのポートフォリオの活用の共有を目的としていることも考えられる。解説では、管理看護や現職教育、スタッフ開発など、卒後看護師等を対象にした内容が多くなっており、使用法や活用法などを解説する対象は臨床が多いことがわかる。

## 2. 看護継続教育におけるポートフォリオの有効な活用

ポートフォリオの効果については、論文の内容から＜学習成果の可視化・成長の実感・モチベーション＞、＜ふり返り・リフレクション・自己評価＞、＜課題の明確化＞、＜周囲との共有＞が抽出されたが、これは森本ら<sup>15)</sup>がポートフォリオを活用した学習に必要な要素として挙げている、リフレクション（省察）やコラボレーション（協働）、リフレクティブ・ラーニング（省察的学習）や目標の設定、相互評価と自己評価、コミュニケーション・スキルと一致している。よって、ポートフォリオを有効に活用するには、先行文献の報告を参考に「学習の課題や成果が明確に可視化できる」、「リフレクションを行い、自己評価ができる」ポートフォリオの形式を整える必要がある。そのポートフォリオを基に、学生間や学生と指導者、学生と教員などと成果の内容や目標達成状況などを「共有」し、相互評価を加えることで、学生が「自身の成長を実感する」ものとなり得る。さらに卒後臨床の場においても日々の経験や学習の記録を可視化できる形で蓄積できれば、客観的な自己の成長過程の評価と同僚や管理者などからの他者評価に活用できる。看護教育においてポートフォリオを活用することは、継続的なモチベーションにつながると考えることができる。

## 3. 看護教育におけるポートフォリオの活用の課題と今後の展望

論文内容の分析から、ポートフォリオの活用上の課題として＜活用のための準備・説明が必

要>、<記録することの負担>、<運用基準の不備>があり、記録の量や時間の考慮が必要であること、導入前の運用基準の整備とその内容や目的の周知が必要であることがわかった。

檜山ら<sup>16)</sup>は、在学中から将来の目標を意識し、卒業後のキャリアポートフォリオにつなげていくための「SCU（札幌市立大学）ラーニングポートフォリオ」を活用した結果を報告している。札幌市立大学の卒業生86名にアンケートを実施し、卒業後もポートフォリオを目標管理ツールとして活用しているかを調査した。しかし結果は、目標管理に職場の研修ファイルを活用している学生が多く、上司との面談やプリセプターからの指導に使用され、自分自身の目標管理としての活用は比較的少なかったとしている。

教育学の視点から、看護職の現任教育におけるポートフォリオの活用を研究した高口<sup>17)</sup>は、看護基礎教育において学内教育や臨地実習でもポートフォリオが活用されるようになってきたが、認知度は低く効果的な活用がされていない現状を指摘している。学生の指導にあたる成人学習者（臨地実習指導者）においても、受講生の立場になったとたんに受身的な学習者になってしまう要因として、与えられる教育に慣れ、指示された課題をこなすことが学習と捉えている現状を挙げている。

多くの医療機関でポートフォリオ・プロジェクト学習の支援をしている鈴木<sup>18)</sup>も、キャリアポートフォリオについて、「e-ポートフォリオ」を組織で導入している場合、その組織のためのポートフォリオになっているケースが多く見受けられ、個人の情報をデジタルデータとして管理やキャリア支援に活かすことはあっても、当事者が自己の学習に活かすことは極めて少ない現状を指摘している。

今回、医中誌 Web での検索では抽出されなかったが、2000年に雑誌『Quality Nursing』での「ポートフォリオと卒後研修」という特集のなかで、大関<sup>19)</sup>は、「看護教育にポートフォリオの導入を」と題し、RCN（王立看護協会）での研修体験をもとに、英国の義務教育で使われている portfolio について紹介している。日本でも組織的・系統的な卒後教育が必要であり、そのシステム作りを考える手がかりとして、ポートフォリオの活用を推奨した。

以降、看護基礎教育におけるポートフォリオの活用は進んでいるが、1科目や実習での活用にとどまっていることが多く、入学から卒業まで学生ひとりひとりが自分の学習記録を蓄積し、その積み重ねたポートフォリオをもって臨床での看護を実践していくというところまで到達していない。さらにそのポートフォリオは、学習者の主体的な学びに活かすよりも、学習評価者や管理者に活用されている傾向が示唆されている。

内閣府<sup>20)</sup>は、我が国が目指すべき未来社会の姿として「Society 5.0」を提唱し、デジタル化を進めている。これまでの情報社会（Society 4.0）では、知識や方法が共有されず、分野横断的な連携が不十分であるという問題があった。新たな Society 5.0 の社会では、様々な知識や情報が共有され、あらたな価値を生み出すことが期待されている。今後 e-ポートフォリオが普及すれば、入学から卒業までの看護学科（大学）全体での教育の評価が可能となる。データ

化された情報を分析し、看護学科全体あるいは大学全体でのポートフォリオを評価した研究が行われ、その結果は研究だけでなく、その大学の教育評価指標として公開され、さらなる教育の向上に役立てられる可能性が期待される。大学のマネジメントの観点からも、教育の内容や成果が可視化されることが必要である。

そのためには、ポートフォリオの活用において課題とされている運用基準の整備や学生に過度な負担とならないポートフォリオのあり方を検討し、学生が有効に活用し、学習を積み重ねていくことができるよう、教員の学生指導や支援のスキルアップも必要である。

## V. 結論

看護におけるポートフォリオに関する文献を検討した結果、以下のことが明らかになった。

1. 看護におけるポートフォリオに関する文献数は、2000年以降緩やかに増加しており、解説、会議録、原著論文の順に多い。
2. シソーラス用語で最も多かったのは「教育評価」であり、論文では「看護学生」「ファイリング」をシソーラス用語にもつ文献が多かった。
3. ポートフォリオに関する論文では看護基礎教育に関する内容が多く、解説では臨床での活用に関する内容が多い。
4. ポートフォリオの効果は、＜学習成果の可視化・成長の実感・モチベーション＞、＜ふり振り返り・リフレクション・自己評価＞、＜課題の明確化＞、＜周囲との共有＞があり、課題は＜活用のための準備・説明が必要＞、＜記録することの負担＞、＜運用基準の不備＞があった。
5. 看護基礎教育では実習や1科目での活用が多く、今後はポートフォリオの効果を得られるような記録形式や運用方法を検討し、教育機関全体での活用や卒後教育へ結びつくような活用が望まれる。

## 〔文 献〕

- 1) 文部科学省、日本学術振興会、大学教育再生加速プログラム（パンフレット）、  
<https://www.jsps.go.jp/j-ap/>（2019.9.1）
- 2) 前掲1）、（2019.9.1）
- 3) 佛教大学 HP: 佛大 Vision2022, <http://www.bukkyo-u.ac.jp/about/vision2022/vision.html>（2019.8.20）
- 4) 鈴木敏恵、ポートフォリオで未来の教育－次世代の教育者・指導者のテキスト、日本看護協会出版会、東京、2019、6。
- 5) 大関信子、看護教育にポートフォリオの導入を、Quality Nursing, 6（3）、52-53、2000。
- 6) 佛教大学 HP：看護学科の教育研究上の目的、  
<http://www.bukkyo-u.ac.jp/about/policy/f-healthcare/nursing.html#p01>（2019.8.20）
- 7) 医学中央雑誌刊行会、論文種類の定義、<https://www.jamas.or.jp/database/policy2.html>、（2019.12.25）
- 8) 藤澤盛樹、近藤純子、他2名、総合看護学実習におけるポートフォリオ導入プロセス、千里金蘭



- 大学紀要, 13, 67-76, 2017.
- 9) 榊本朋子, 池原麗子, 他2名, 看護基礎教育における実習用ポートフォリオ導入の試み, 川崎医療短期大学紀要, 36, 9-16, 2016.
- 10) 吾郷美奈恵, 石橋照子, 他9名, 看護基礎教育における自己教育力育成に向けた"だんだんeポートフォリオ"システムの活用, 島根県立大学短期大学部出雲キャンパス研究紀要, 6, 101-112, 2011.
- 11) 三島三代子, 吾郷美奈恵, 他2名, "だんだんeポートフォリオ"システム・参画支援システム"ECILS"の活用状況と卒業時評価, 島根県立大学出雲キャンパス紀要, 7, 101-108, 2012.
- 12) 須藤聖子, 林有学, 他3名, 看護基礎教育におけるeポートフォリオ学習の実践報告(第二報) 基礎看護学におけるルーブリック評価の試み, 畿央大学紀要, 15(2), 75-81, 2018.
- 13) 山崎尚美, 南部 登志江, 他2名, 看護基礎教育におけるeポートフォリオ学習の実践報告(第三報), 老年看護学におけるルーブリック評価の試み, 畿央大学紀要(1349-5534), 15(2), 3-88, 2018.
- 14) 小島さやか, 文献から見た看護教育におけるポートフォリオ評価活用の現状, 新潟青陵学会誌, 4(3), 101-109, 2012.
- 15) 森本康彦, 永田智子, 他2名編著, 日本教育工学会監修, 教育分野におけるeポートフォリオ, ミネルヴァ書房, 京都市, 2017, 9-10.
- 16) 檜山明子, 吉川由希子, 他8名, 看護学部卒業後の目標管理ツールの活用状況に関する実態調査, SCU Journal of Design & Nursing, 8(1), 101-105, 2014.
- 17) 高口みさき, ポートフォリオを用いた学習に関する一研究 看護職の現任教育への活用に向けて, 佛教大学大学院紀要(社会福祉学研究科篇)(1883-4019), 45, 103-120, 2017.
- 18) 前掲4), 12.
- 19) 前掲5)
- 20) 内閣府 HP: 科学技術政策, Society5.0, [https://www8.cao.go.jp/cstp/society5\\_0/index.html](https://www8.cao.go.jp/cstp/society5_0/index.html) (2019.9.1)

(いしどう たまき 看護学科)

(やぶした やえ 看護学科)

2019年10月1日受理